

◆頑張っている人物やグループを
広報編集委員が紹介します。

担当 野村土佐夫
田中たい子

わがまちの繁栄は子宝にありと意気軒昂！
野市町の街中を流れる烏川に鯉を泳がす「野市町高齢者クラブ」を
紹介します。



野市町高齢者クラブ

高齢者の願い

烏河畔に鯉群れて 薫風速き滝なれば
登竜の誉れ念じつつ 夢持つ子らに育てかし

これは成川清会長の往年の願いで、「子は
まちの財産、まちの繁栄は子らの成長にある。
この『連鯉流し』は、我々まちの老齢者の願
いがこもっています。単なる老齢者の遊び事
ではありません」と信念の通った言葉を添えら
れました。この野市町高齢者クラブは20の単
位クラブがあって、現在の会員数が703人。先輩
会長の野崎謙次郎さん、西山勝さん(いずれも
故人の後を継いで成川さんが精力的に頑張っ
ておられます。

この日は4月14日。間もなく端午の節句で
す。恒例の行事として「野市町高齢者クラブ」
が長年手がけてきた「連鯉流し」ですが、会員
の中根順一さんに起源を尋ねますと「平成2
年5月6日に始まって今年で20年になりま
す」ということでした。

危険な作業

さて作業ですが、連鯉用ポールから対岸の
大木にロープを架けるにしても、ハシゴの上
がり強風の中では大変な作業。「誰か、上がっ
てくれるもんはおらんかえー？」と、会長
の声が響きます。勇気を出して大役を引き受
けた中澤一頼さん(73歳)は、命綱を腰に巻き



付けながら一番高いところへ滑車取り付け
成功。見守る皆からは拍手が起こりました。
無事降りて胸をなでおろしながら「来年から
は、消防士さんに協力してもらおうたらいいね」
そろそろ次の世代と交代しなければと本音
を耳にしたことです。

泳げ鯉のぼり

ロープに鯉を取り付ける作業は、手馴れた
手つきで川向こうのひとの合図をしながらの
連携プレー。あれよあれよという間に鯉の群
れが烏川を遡り始めました。道行く人も足を
止め懐かしそうに眺めていました。「この瞬間
が一番うれしい」と一人が声をあげました。

ふれあいセンターの倉庫で仕分けた鯉を烏
川の堤へ運搬し、対岸へのロープ渡し、鯉の取
り付けなど、都合2時間余り、若者のような息
吹を絶やさず野市名物が完成しました。

それからがまた大変。来年へ向けてセンター
在庫の鯉や器具類の収納など、忙しい作業
が続きました。本当にご苦労さまでした。

鯉の寄付をお願いします

今年の鯉は20匹で、昔のような男子誕生に
フラフと鯉のぼりを立てる習慣が廃れたの
か、新しい鯉の寄付が少なく、将来を危惧さ
れているようでした。是非ご家庭で眠ってい
る鯉のぼりがありましたらご寄付ください
ますようお願いいたします。

問い合わせ 社会福祉協議会 ☎5717300

編集後記

▼初めての季節に輝く柔らかな緑。夏の日射しの激しさや冬の風の厳しさを知っている強く深い緑。景色はいろいろな緑が溢れています。今月号から表紙がカラーになりました。季節の色やまちの表情を鮮やかにお届けできれば嬉しいです。(井)

▼新1年生のあどけない笑顔や緊張した表情が集合！思わずシャッターをきる回数が増え、ホームページ版の広報「キラキラ1年生」では、初々しい表情をそのままにカラーで紹介しています。1年生のみんなガンバレ！(M)

▼現在、観光協会が取り組んでいる「らぶプロジェクト」にらを使つてまちおこしをしよう、趣向を凝らしたからメニューが続々と開発中。こじやんと！こうなん！のページで紹介。にらで香南市を元気に！私もいっぱい食べて元気モリモリ！(S)

▼他人の持つ土地に勝手に入って山菜やタケノコなどを採取する行為は窃盗にあたります。もちろん野菜や果物も、勝手に採ってはいけません。土地の持ち主の許可をとり、マナーとルールをしっかり守りましょう。(み)

《広報へのメール》

Kocho@city.koohi.konan.lg.jp

《香南市のホームページ》

http://www.city.koohi.konan.lg.jp